

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-20	平成30年度第3回墨田区協治(ガバナンス)まちづくり推進基金審査会		
開催日時	平成31年2月1日(金)午前10時から正午まで			
開催場所	区役所8階82会議室			
出席者数	委員9名(會田玉美 松本潔 三浦春菜 阿久澤八代 井口昭子 猪田昭一 杉浦邦雄 松下一彦 久米信行) 事務局(地域活動推進担当 3名)			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議題	1 すみだの力応援助成事業について 2 すみだの夢応援助成事業について 3 その他			
配付資料	資料1 平成30年度すみだの力応援助成事業 進捗状況 資料2 平成31年度協治(ガバナンス)まちづくり推進基金審査会 開催日程案 資料3 平成30年度すみだの夢応援助成事業 寄付実績一覧 資料4 平成30年度すみだの夢応援助成金 交付額(第2回交付分) 資料5 平成30年度すみだの夢応援助成事業 進捗状況 資料6 平成31年度すみだの夢応援助成事業 募集要項の主な変更点(案) 資料7 平成31年度すみだの夢応援助成金 募集要項(案) 資料8 平成31年度すみだの夢応援助成事業 スケジュール(案) 参考資料 平成30年度すみだの夢応援助成事業 募集要項			
会議概要	平成31年度すみだの力応援助成事業及びすみだの夢応援助成事業の概要について、審査委員から意見をいただいた。			
所管課	地域活動推進課(内線5402)			

平成 30 年度第 3 回墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会 議事録

日時：平成 31 年 2 月 1 日（金）午前 10 時 00 分から

場所：墨田区役所 8 階 82 会議室

～開式～

会長: それでは、審査会を開催いたします。次第に沿って進めていきたいと思いを。

まず、「1 すみだの力応援助成事業について」の（1）平成 30 年度助成事業の進捗状況及び今後の予定について、事務局より説明をお願いします。

事務局: それでは、資料 1 をご覧ください。平成 30 年度すみだの力応援助成事業の進捗状況について、担当職員よりご説明いたします。

～資料 1 の説明～

会長: 何かご質問等あればどうぞ。

A 委員: 事業をすでに終了している 2 団体については、現在何か活動をしていますか？

事務局: 当助成にかかる事業自体は終了したため報告書をご提出いただいておりますが、団体としてはそれぞれ活動を続けております。

B 委員: 1 のプログラミングコンテストでは、入選した後は何かあるのでしょうか。

事務局: 昨年度も団体としては当コンテストを行っており、優秀作品等は過去受賞作として団体のホームページに掲載されています。

B 委員: コンテストをより広める場合には、地元の小中学校の授業に使ってもらうなどで、作ったものがどこかに飾られているだけにとどまることなく、その後に広がりがあるといいですね。応募した人の励みにもなるでしょう。

C 委員: ジャズフェスティバルに関しては、今後は墨田区全体の規模として、本体の団体と連携しながら進めていくのが望ましいと思います。

会長: では、続きまして、次第（2）平成 31 年度助成事業の枠組みについてと、（3）平成 31 年度審査会の開催日程について説明をお願いします。

事務局：（2）の平成31年度すみだの力助成事業の助成の枠組みについてですが、細かい募集要項の内容については、5月頃に開催を予定しております次回審査会で内容をご審議いただく予定です。現在の予定としましては、29年度募集から助成要件の見直しを行った効果か、30年度は応募団体数が増加いたしましたので、今年度と大きく変更する予定はございません。今現在で、委員の皆様から何かご意見等あれば募集要項に反映させていただきますので、お伺いできればと思います。

続きまして、（3）審査会の開催日程についてです。

～報告会の日程について説明～

会長：枠組みの詳細については、次回検討するとのことですが、委員のみなさまで何かご提案や気になった点等はございますか。特にないようであれば、続いて審査会の開催日についてです。みなさんのご都合とご意見をお聞かせください。

～日程調整～

会長：続きまして、2番の「すみだの夢応援助成事業について」に移りたいと思います。

（1）平成30年度助成金額の報告について、事務局の説明をお願いします。

事務局：資料3をご覧ください。今年度採択した4事業について8月1日から12月31日までの5か月間でクラウドファンディングを行いました。4事業中2事業が目標金額達成となり、総額3,376万円の寄付を集めることができましたのでご報告させていただきます。今年度の特徴としましては、1の新日本フィルが目標金額を600万近く上回る寄付を集めることができました。これは小沢征爾氏との演奏音源をCD化し、返礼品として用意したことが新たな寄付者を掘り起こすことにつながったものと思います。集まった寄付金の使い道としては、定期演奏会の無料招待者を増やしたり、まちかどコンサートの回数を増やすなど、事業を拡大して実施する予定となっております。また、3の日本パラ・パワーリフティング連盟についてですが、こちらは目標額に大きく届きませんでした。ふるさとチョイスのサイトでも、オリンピックに向けてスポーツを対象にした事業をまとめて「広域連携型ガバメントクラウドファンディング」として取り上げた工夫をしていただいたり、ほかにもツイッターに載せていただいたりしたのですが、残念な結果となってしまいました。事業についてですが、明日がスカイツリーのソラマチひろばで開催されるパブリックビューイングの本番となっております。金額的に足りない点に関しては団体事務局のほうで負担するとのことですが、場所の制約もある関係から、画面のサイズが当初予定していた物より小さくなります。そこで、競技の体験会を開催するなど多くの方に競技を知っていただく点を重視した内容で開催する予定となっております。お時間にご都合がつけば、足を運んでいただければ幸いです。

続きまして、資料4をご覧ください。現在、各団体への助成金交付手続きを進めておりますが、すでに一部助成金を交付している団体があるため、今回が第2回交付分となります。新日本フィルは目標額を超えた寄付を集めておりますので、超えた分に対して1割分の手数料を引かせていただいております。総額としては、1,855万5,800円を2月上旬に各団体へ交付する予定です。

会長：続きまして、(2)平成30年度事業進捗状況及び今後の実施予定について、事務局より説明をお願いします。

事務局：資料5をご覧ください。各事業の進捗状況と今後の予定を担当職員より説明いたします。
～資料5の説明～

事務局：以上の4事業の実施報告会ですが、先ほどお話しさせていただいた5月中旬に行う「すみだの力応援助成事業」の実施報告会との同時開催を予定しております。長時間の審査会になりますが、どうぞよろしくをお願いします。

会長：ここまでで、みなさんご意見・ご質問ありますか。

B委員：質問ですが、採択された団体に動画での報告の提出を求めていますか？

事務局：動画では求めていません。写真はご提出いただいています。

B委員：この時代なので、動画1～2分のもので報告として提出いただくのはどうでしょうか。その動画を動画投稿サイトにアップしたりして、助成後でも、「墨田区の助成事業で採択されました。そのときの動画です。」などと、違う場面でも使えるのではないのでしょうか。信頼があつて寄付が集めやすくなったりしていいのかなと思います。次回からのリクエストとしていかがでしょうか。報告会の時も、口で発表されるのを聞くよりも動画で見るのもいいのではないのでしょうか。

あと、すでに区内で人が集まるイベントって、たとえばすみだまつりとかがありますよね。それこそジャズフェスティバルとか、そういったときにブースとして出店をする助成はどうでしょうか？音楽イベントの時とか盛り上がるお祭りのときとかに、応援する形の助成をするのはどうでしょうか。

事務局：今年度のすみだまつりでは、当課のブースの一部を使って各団体のPRを実施いたしました。来場した子供たちは、楽器に触れたり、演奏したりすることができて、普段経験できない良い機会になっていました。寺島・玉ノ井まちづくり協議会は、農園のジオラマをつくって多くの方に見ていただいていたいました。たくさんの方に立ち寄っていただき、団体のみなさんは、チラシを配りながら、それぞれ工夫してPRなさっていたと思います。

D委員：どういうところで実際に子どもたちや対象者に広報活動をするかが、前回の報告会でも気になりましたが、実際に人が集まる場所に配る、現場に流すということが重要ですよ。

事務局：実際に学校にチラシを配架して参加者を募っている団体もあります。

B 委員：学校の掲示板が利用できたらいいですね。活動を知ってもらうのに、チラシはたくさんつくらなければいけません、掲示板なら数枚で多くの方が目にすることができます。

D 委員：児童館に置くのもいいですね。親子が多く来られる場所なので、お父さんに見てもらえることが多くなる気がします。

A 委員：助成をうけた団体同士で広報を応援するような協力関係ができれば、更にいいですね。

D 委員：カフェにカードとして置くのもいいです。チラシを折りたたみ、サイズを小さくすることで、渡しやすい、受け取りやすいなど、相手に届くような工夫があればいいですね。

B 委員：観光協会にも依頼して、ツアーに参加する方にも見てもらったらどうでしょう。

会長：みなさま、ありがとうございます。続いて (3) 平成 31 年度助成事業の枠組み及びスケジュールについて説明をお願いします。

事務局：資料 6 をご覧ください。今年度の募集要項の主な変更点をまとめたものです。

まず、1 の応募申請書類です。提出書類としては、現在と変更はありませんが、決算の時期が各団体で違うため、「30 年度決算書を提出」のように書いてしまうと提出できない法人が出てしまうため、直近事業年度という表記に変更しようと考えています。2 点目は、昨年度の事業実施報告会時に委員の皆様から「事業採択後の様子が分からないため、評価しにくい」とのご意見をいただいたため、今回の応募から、中間報告会を実施することを予定しております。具体的には、資料 7 の募集要項案の 5 ページをご覧ください。開催時期としましては 2 月頃を計画しており、採択された団体から中間報告のプレゼンテーションを行います。当日は、審査会委員だけではなく、専門家会議の委員の皆様にもご出席いただき、各団体への質問や今後事業を進めていくアドバイスなどを行っていただきたいと考えております。この中間報告会を実施することで、次年度事業を審査するうえでの参考とすることや、実施報告会の事前情報を得ることができ、評価をまとめ易くなることを期待しております。

A 委員：中間報告会は、事業をやる団体にも負担になりそうですね。

D 委員：事業実施時期がはやい団体についても難しいですね。

B 委員：1 回限りではなく、この事業が終わった後でも長く続いてもらう、続いてほしいというコンセプトを伝えたいうえで、先ほどの話に戻りますが、動画をつくってもらうのがいいと思います。SNS で動画をアップするのはそこまで負担にはならないと思います。紙の報告書よりも多くの方に「見える化」していきたいですね。自立化の支援と自助努力につながるように。動画といっても写真をつなげただけのスライドでもいいと思います。だいたいイメージが見えますので。最初は報告の宿題として提出していても、後には団体の成長にもつながります。

会長：ありがとうございます。

事務局：中間報告会については、本日のご意見を受けて、開催方法や時期など引き続き検討してまいります。募集要項には実施予定として記載させていただきます。その他、修正個所につきまして赤字で示しておりますが、細かい文言や日程等の記載を修正したいと考えております。以上が事務局の募集要項案です。

続きまして、資料8をご覧ください。今後のスケジュールですが、本日いただいた意見を基に募集要項を決定し、3月20日から事業募集を開始したいと考えております。現在、4月18日（木）に募集締め切り、4月26日（金）にプレゼンテーション実施、その後5月中旬の報告会とあわせて開催する審査会において助成団体の決定をしたいと考えております。その後、庁内の手続きを経て、8月から12月にかけてクラウドファンディングの実施を予定しておりますので、よろしく申し上げます。

会長：ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見はありませんか？

副会長：専門家会議と審査会でメンバーが異なるので、どうしても話だけでは分かりづらい点があります。話をつなぐ工夫やツールがなにかあれば、審査会の決定につながって役立つのではないのでしょうか。

会長：それでは、これまでの議論を事務局でまとめ、区長へ答申させていただくということでよろしいでしょうか。これで、本日の審査会は終了いたします。皆様、本日は誠にありがとうございました。

～閉式～